

2016年3月期決算 インテック売上高が過去最高を更新

□ITホールディングス

ITホールディングスは、2016年5月10日に2016年3月期の連結決算を発表しました。売上高は3,826億円（前期比6.0%増）、営業利益は244億円（同15.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は126億円（同23.4%増）と、前期比で増収増益となりました。

また、2017年3月期の業績予想として、売上高3,900億円、営業利益265億円、親会社株主に帰属する当期純利益は150億円を発表しました。今期を2年目とする中期経営計画で掲げている最終年度のROE（株主資本利益率）目標値8.0%は、業績向上等に伴って、現在の試算では2017年3月期に1年前倒しでの達成を見込んでいます。

□インテック

インテックの売上高は1,174億円（前期比11.3%増）となり、前期に引き続

き過去最高、5期連続の増収となりました。営業利益は63億円（同23.7%増）、経常利益は63億円（同30.8%増）、当期純利益は不動産の売却益などから43億円（同63.7%増）となり、前期比で増収増益となりました。

今期につきましては、お客さまの競争力強化に資するIT投資を積極的に提

案して受注につなげるとともに、クラウド型の商品サービスの提供をはじめサービス型ビジネスの展開を図ることで、業績拡大に努めてまいります。2017年3月期には売上高1,200億円、営業利益74億円、当期純利益41億円を見込んでおります。

ITホールディングス (単位：百万円、括弧内は対前年比増減率)

	2016年3月期実績		2017年3月期予想	
	金額	増減率	金額	増減率
売上高	382,689	(6.0%)	390,000	(1.9%)
営業利益	24,436	(15.7%)	26,500	(8.4%)
経常利益	24,521	(15.4%)	26,000	(6.0%)
当期純利益	12,678	(23.4%)	15,000	(18.3%)

インテック (単位：百万円、括弧内は対前年比増減率)

	2016年3月期実績		2017年3月期予想	
	金額	増減率	金額	増減率
売上高	117,443	(11.3%)	120,000	(2.2%)
営業利益	6,308	(23.7%)	7,400	(17.3%)
経常利益	6,392	(30.8%)	7,000	(9.5%)
当期純利益	4,367	(63.7%)	4,100	(△6.1%)

グループ統合再編に関するお知らせ

2016年7月1日、TISインテックグループ誕生に伴い、コーポレートマークを変更しました。インテックはグループの中核企業として、より強力でグループをリードし、グループの総合力を最大限に発揮できるよう努力してまいります。

また、グループ全体最適の観点から、インテック、TISをはじめグループ4社の名古屋の事業拠点を集約し、2016年7月19日から移転先である名古屋ルーセントタワーにて営業を開始しています。新しい事業所は、事業拡張対応や執務環境向上を目的としてオフィススペースを拡大するとともに、グループ

会社間のコミュニケーションの円滑化や協業を推進する環境を整備しました。



INTEC
TIS INTEC Group
Go Beyond



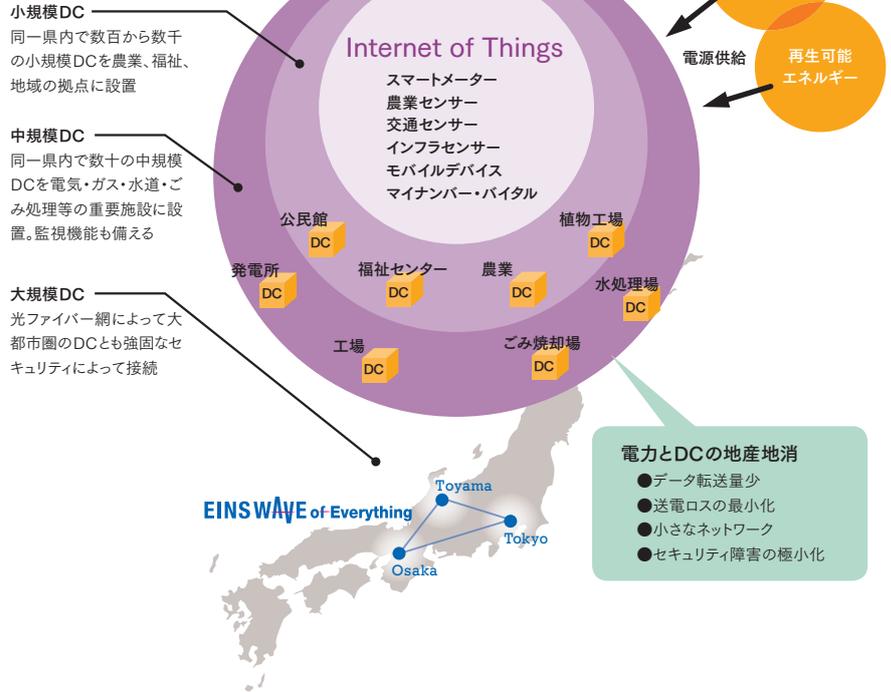
〒451-6018 名古屋市西区牛島町6-1
名古屋ルーセントタワー
TEL : 052-582-1331 FAX : 052-581-3708
(名古屋駅より徒歩約10分)

日経エコロジー特別シンポジウムで講演

2016年6月2日、品川インターシティホールにて「日経エコロジー特別シンポジウム」が開催されました。シンポジウムのテーマは「G7から考える持続可能な町づくりと地域との共生」。丸川珠代環境大臣（現五輪担当相）、石井隆一富山県知事の基調講演に続き、インテック専務執行役員 社会システム戦略事業部長の石井貞行が「IoTでサステナブル*都市を支える」と題して講演しました。

高度経済成長期に整備された社会インフラの老朽化、あらゆるものがインターネットに接続される時代におけるサイバー攻撃の脅威、コンピュータの利用拡大による消費電力量の増大といった課題を、最先端のIT技術を駆使して解決を図ることが、都市と技術、両方の成長につながる、という視点でインテックの取り組みを紹介しました。

インテックが提唱するIoT時代の未来型データセンター(DC)構想



*環境に多大な負荷を与えず持続可能な状態

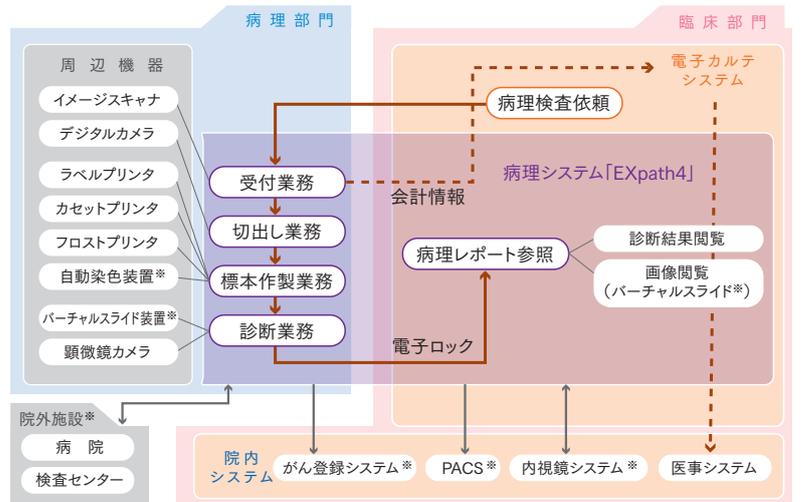
病理・細胞診検査業務支援システム「EXpath4」提供開始

インテックは、病院の病理部門における診断、工程管理、統計処理などを支援する病理・細胞診検査業務支援システム「EXpath4 (エクスパスフォー)」の販売を開始しました。

「EXpath4」では、異なるシステムを利用している場合であっても、病院間で発生する検査依頼と結果報告を電子データで連携することを可能にしました。今後、病理医間のコンサルテーションや医療機関のネットワーク網が充実すれば、病理医不在の病院や、一人病理医の病院でも安定した精度で診断ができるようになり、地域医療格差の是正に貢献することができます。

EXpath4の連携イメージ

臨床部門からの病理オーダーを電子カルテやオーダーリングシステムと連携してEXpath4で受け付けます。EXpath4は、病理オーダーの受け付けから標本作製、報告書作成の支援まで、病理部門の業務をサポートします。また、画像情報や診断情報を一括管理し、データの二次利用を行うことが可能です。



お問い合わせ先:

株式会社インテック 北陸地区本部 医療システム部
E-Mail: expath@intec.co.jp TEL: 03-5665-9799

「MCFrame Award」で通算11回目の「Partner of the Year」を受賞

インテックは、東洋ビジネスエンジニアリング株式会社のMCFrameビジネスへの貢献が目覚ましいパートナー企業を表彰する「MCFrame Award 2016」において、最高賞である「Partner of the Year」を受賞いたしました。首都圏をはじめ、北陸、中部、西日本地区といった広範囲での活動により年間10件もの新規受注を達成した点や、商談をスピーディーにまとめた点が特に高く評価され、通算11回目（表彰は

2003年より全14回実施）の同賞受賞となりました。

インテックはMCFrameがリリースされた1996年よりMCFrameのビジネスパートナーとして豊富な導入実績を積んでおります。今後もこれまでの経験を最大限に活かしMCFrameビジネスの更なる拡大に努めるとともに、全国のお客さまから信頼いただけるビジネスパートナーとして取り組んでまいります。



東洋ビジネスエンジニアリング株式会社の大澤正典取締役社長（左）とインテック SI事業本部 副本部長 中山登志明

ネクスウェイ、販促特化型DM印刷発送サービス提供開始

ネクスウェイは、販売促進用途におけるダイレクトメール（以下DM）の、宛名印字～印刷～発送までを業界最安値水準で一括注文できる『ゴーゴードM』の提供を2016年7月より開始しています。送料を含めた単価を低コストに抑え、あわせて新規法人リストや原稿の支援を行うことでお客さまの販売

促進の費用対効果の向上に努めます。

サービス提供開始時点の価格帯適用範囲は一部三県（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）宛のDMですが、順次全国へ拡大していく予定です。ネクスウェイは、BtoB販促領域において、費用対効果No.1のDM印刷発送サービスを目指してまいります。

●ゴーゴードM

<http://www.nexway.co.jp/service/gogodm/>

■特長：オンライン入稿～印刷～発送までワンストップで対応/新法人リストのご案内も可能（オプションサービス）/発送形態はA4・A4圧着V折の大判ハガキ（今後ラインナップ拡充予定）

■利用料金：初期費用、月額基本料金 無料

■価格（税抜）：A4ハガキ 1通55円～（継続利用割引適用、一部三県）、A4圧着V折ハガキ 1通65円～（継続利用割引適用、一部三県）

■お問い合わせ先：株式会社ネクスウェイ

E-mail : clp@nexway.co.jp

インテック武漢、開発規模拡大に向け移転

インテックの中国におけるソフトウェア開発拠点であるインテック武漢は、オフショア開発規模の拡大による増床のため、オフィスに移転し2016年5月30日より業務を開始しました。

新オフィスは、旧オフィスの近隣にあたり、湖北省政府や武漢大学など政治・教育の中心である武昌エリアに位置しています。

インテック武漢は、インテックのオフショア開発拠点の“核”として年々開発規模を拡大しています。この度の増

床では、従来の2倍の要員収容を可能にしました。また、特定プロジェクト向けの専用開発室の設置や、ISO27001情報セキュリティ管理体制認証取得等、従来に引き続きお客さまにご安心いただける日本と同様の高いセキュリティレベルの開発環境を整えています。

インテック武漢では、12年間のオフショア開発実績をもとにお客さまのご要望に沿った多様な案件に柔軟に対応し、生産性、品質、セキュリティの面でもさらなる向上に努めてまいります。



インテック武漢
〒430071 武漢市武昌区中北路109号
1818中心14階
TEL : +86(27)8266-9890
FAX : +86(27)8726-7996
<http://www.intecwh.com/>

F³クラウドCRMシステム最新バージョンを北越銀行に導入

インテックの「F³（エフキューブ）クラウドCRMシステム」の最新バージョンが北越銀行に採用され、利用が始まりました。「F³（エフキューブ）クラウドCRMシステム」は、地域金融機関で多数の導入実績があり、今回採用された最新バージョンではタブレット端末との連携を実現しました。

タブレット端末を使用することで、

外出先でも正確なお客さま情報を活用し最適な商品提案を可能にするとともに、契約に伴う書類作成手続き業務を支援するなど、お客さまへのサービス品質と業務効率の向上を支援します。タブレット端末の可能性を最大限に引き出しながら、安全性・利便性の高い利用環境を実現しています。

- 今後予定している新機能
- ・ 渉外活動を支援する地図情報システムとの連携
- ・ 電子パンフレット表示機能
- ・ 本人確認手続きを支援するカメラ機能

■お問い合わせ先：
株式会社インテック
金融ソリューション事業本部
金融ソリューションサービス企画部
E-Mail：f3_info@intec.co.jp
TEL：045-451-2424

金岡克己取締役会長、富山県経営者協会会長に就任

取締役会長の金岡克己は、一般社団法人富山県経営者協会の会長に就任いたしました。

富山県経営者協会は1947年1月に富山県内経済界の要望のもとに労働問題を主管とする団体として設立、その後1949年5月社団法人に、2012年4月一般社団法人に移行され、2017年1月に設立70年を迎えます。旧日本経営者団体連盟（略称：日経連）の流れを受け、長年「企業と人」にフォーカスを当てた活動を続けており、2016年4月現在の

会員数は475社を数え、富山県を代表する経済団体となっています。経済3団体は富山県に、富山商工会議所（日商）、富山経済同友会（経済同友会）の各地域組織を持っており、富山県経営者協会（経団連）もその一つです。

1947年の協会設立以来、歴代の会長は製造業の経営トップが務めており、IT企業のトップが就くのは初めてとなります。金岡会長は「皆さまのお力をお借りし、協会の発展に尽力したい」と意欲を示しています。



富山県経営者協会総会で会長就任の辞を述べる金岡会長

■富山県経営者協会 <http://www.toyama-keikyoo.jp/>

公共ソリューション企画部 干場進二、情報通信月間功労賞を受賞

総務省北陸総合通信局および北陸情報通信協議会は2016年6月1日、「電波の日・情報通信月間」に合わせた記念式典を行い、公共ソリューション企画部 干場進二が情報通信月間功労賞を受賞しました。

同賞は、電波利用や情報通信の発展に功績のあった個人および団体に対して行われる表彰です。青少年の安心・安全なインターネット利用環境の重要性を深く認識し、インターネット上の

違法・有害情報によるトラブルから次世代を担う青少年を守るため、e-ネットキャラバン^{*}の講師派遣に積極的に取り組んだことが評価され、この度の受賞となりました。

受賞にあたり、干場は「活動を始め、約10年が経ちました。しかし、未だにネットトラブルは発生しているため、今後も微力ながら協力していきたいと思えます」と、今後の取り組みについて意欲を示しています。



干場 進二
インテック
公共ソリューション事業本部
公共ソリューション企画部

^{*}e-ネットキャラバン：インターネットの安心・安全な利用のために、保護者や教職員をはじめ、小学生（高学年）～高校生向けに実施するe-ネット安心講座によるガイダンス。総務省、文部科学省、情報通信分野などのボランティア講師派遣企業/団体の協力により、全国規模で講師を派遣する出張講座を行っています。